

単元名 地図となかよしになろう(令和2年度4年生のみ)

配当時間 7時間

- 単元の目標 (1) 地図記号や縮尺、等高線など、読図の基本や、47都道府県の名称と位置を理解するとともに、地図を読み取ったり、景観写真を読み取ったりすることを通して、等高線の意味について調べることができる。
- (2) 実際の景観と地図との関係や地図上の距離と実際の距離との関係を考え、地図の活用の仕方が必要に応じて適切に判断することができる。
- (3) 自分たちの住んでいる地域の地図、景観写真などの資料を問題解決の材料として効果的に活用する活動を通して、地図を日常的に活用しようとする。

標準的な展開例

04030101_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 日常生活でどのような地図があるのかを話し合い、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>○ 地図の種類や使い方について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界地図、日本地図 ・県の地図、市の地図 ・住んでいる地域の地図（学区地図） ・学区内の住宅案内板 ・使い方→家を探す、目的地までの道順を調べる、旅行をする <p>○ 地図の特徴や工夫されていることについて気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな地図記号が使われている ・山などに数字の入った線がたくさん見られる ・狭い範囲の地図や、広い範囲の全体が分かる地図がある <p>○ 地図について話し合い、学習問題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図にはいろいろな種類があるけれど、使い方がよく分からない ・どうして地図は色分けがしてあるのかな <p>★ 地図の使い方マスターになろう</p> <p>○ 都道府県の名称と位置、その特徴について予想し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クワガタの形をした県が日本の北や南にもある ・愛知県の近くには海がない県がいくつもある <p>○ 予想を基にして、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べる内容…地図記号と八方位の意味と使い方、地図上の距離と実際の距離の関係、等高線の意味、都道府県の名称と位置 ・調べる方法…教科書、副読本、地図帳、白地図、地図 <p>2 地図記号や方位、土地利用図について知る。</p> <p>○ 新しい地図記号の意味と使い方を知る。</p> <p>○ 八方位の意味と使い方を知る。</p> <p>○ 土地利用を地図でどのように表しているか調べる。</p> <p>○ 写真と土地利用図を比べる。</p> <p>3～4 等高線の意味を知り、愛知県の特徴を読み取る。</p> <p>○ 写真と土地利用図を比べ、等高線の意味について知る。</p> <p>○ 等高線を色分けしたり記入したりして、土地の高さの違いをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高さの表し方 ・断面図 ・断彩図 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の使い方について話し合い、地図の活用に興味・関心をもたせる。 ・いろいろな種類の地図を提示し、自分の生活の中で使われている場面を想起させる。 ・地図が生活の中の場面で使われていることに気付かせる。 ・学区内の住宅案内板やカーナビ、天気予報などの提示用資料を用意し、地図の存在に気付くやすいようにする。 ・地図帳を見て、記号や等高線などのきまりがあることに気付かせるとともに、見やすさを感じ取らせる。 ・地図は、利用目的によって必要な情報が網羅されていたり、尺度や内容が決められていたりすることに気付かせる。 <p>・地図帳を使って、都道府県の地形や特徴などを正確に把握することができるように、いくつかのヒントから都道府県を当てるゲームをすることを予告する。</p> <p>【評】地図の活用方法や地図の工夫について話し合う活動を通して、「主体的に学ぼうとする態度」を評価する。</p> <p>・日本には47都道府県があり、名前を知っていても位置やそれぞれの都道府県の特徴について知らないことに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意味や使い方を理解し活用することで、地図を正しく読み取れるようにさせる。 ・3年生で学習した地図記号も確認させる。 ・児童の実態に合わせて、地図上の地図記号をできるだけ多く確認させる。 ・新しい地図記号（自然災害伝承碑）にも触れる。 ・八方位すべての定着を図る。 ・市町の中で、まちの様子が違う場所があることを確認させる。 ・色分けすることで、土地の利用状況が分かりやすくなるとともに、その地域の特徴を捉えやすくなることに気付かせる。 ・地図と現地の様子を撮影した写真を見比べて等高線の意味を理解させ、傾斜の緩急を読み取るようにする。 ・平面地図で表された等高線は、海面からの高さの同じ所を結んだ線であることを知らせる。 ・作業帳を活用して、色分け作業をすることにより等高線によって高さの違いが表現されていることを確認させる。 ・地図帳をコピーしたものを用意し、等高線をなぞらせて間隔の狭さを実感させ、傾斜の違い

<p>○愛知県周辺の地図を見て気付いたことを発表する。</p> <p>5 地図上の距離と実際の距離との関係を調べる。</p> <p>○実際の距離を地図でどのようにして表しているか確かめる。</p> <p>○縮尺の違う地図を見比べて、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図で表される範囲が違う ・土地の様子を調べるには縮尺の大きい地図の方が分かりやすい <p>○コンパスや定規を使って距離を測る。</p> <p>6 47都道府県の位置と名称を調べる。</p> <p>○教科書や地図帳を利用して、白地図に都道府県名を書き入れる。</p> <p>7 単元のまとめをし、学習の振り返りをする。</p> <p>○都道府県名クイズをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番大きい面積の都道府県はどこか ・海がない都道府県はどこか ・名前に「山」がつく都道府県はいくつあるか <p>○地図記号や方位、等高線の意味、47都道府県名と位置を確認する。</p>	<p>いも表現されていることをつかませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図記号、八方位、土地利用の色分け、標高などを手がかりとして愛知県の地形や特徴を読み取らせる。 ・教科書のヒントを利用して、読み取ったり、考えたりする。 <p>【評】愛知県の地形や特徴を読み取る活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縮尺の意味を理解させ、目的に応じて地図を効果的に活用できるようにさせる。 ・地図中に小さいものさしがあることに気付かせる。 ・縮尺の意味と縮尺の違いについて知り、目的に応じた縮尺の地図を活用することの大切さに気付かせる。 ・縮尺の大きさは、間違いやすいので算数的に大きさの比較をするように注意させる。 ・縮尺の目盛りを使って地図上で実際に測らせ距離の測り方を学ばせる。 ・直線の距離を調べるにはコンパスを使うと測りやすいことを押さえる。 ・作業帳を活用する。 ・測る場所は、児童の実態に合わせて決めるとよい。 ・都道府県の場所の理解を図る。 ・コンピュータを使って地図の作成ができるサイトもあり、ゲーム感覚で県名と位置が覚えられるものもある。 ・地図のデータはスキャナーを使って読み取らせる方法や地図ソフトや帝国書院のホームページなどが利用できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・特定場所周辺に多く見られる地図記号や、学校からの方位などをヒントに、いくつかの場所を指定して探すクイズをする。 ・答える際には、ヒントからどのように考えて見付けたのか説明をさせる。 <p>【評】ヒントから特定の場所を探し当てた理由を説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成した拡大白地図は、教室に常に掲示し、後の学習で都道府県名が出てきた際などに確認できるようにさせる。 ・都道府県の名称と位置については、継続的な指導を行い、定着を図る。 <p>【評】地図記号や八方位、等高線の意味、47都道府県名と位置について確認する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
---	--

【 備 考 】

都道府県名の名称に用いる漢字については、第4学年までに指導することとなっているため、漢字の表記に慣れるよう配慮する。

<参考URL>

帝国書院ホームページ www.teikokushoin.co.jp/